

## 赤潮情報（第2報－2）

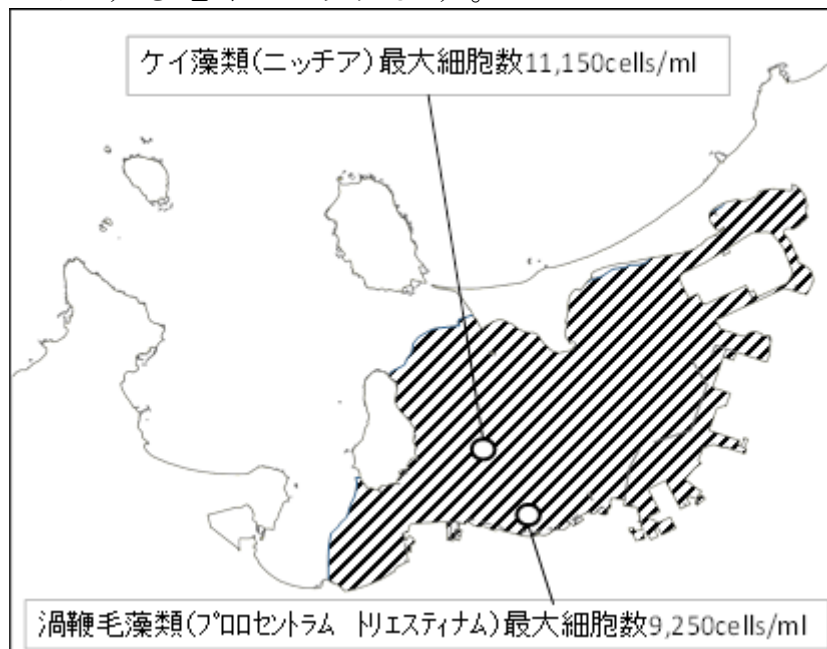
令和3年6月10日  
福岡県水産海洋技術センター  
漁業環境課

5月31日から能古島東側の福岡湾で発生しているケイ藻類（主にスケルトネマとニッチア）の赤潮は、6月9日（水）の調査では、着色域は同程度ですが、ケイ藻類（主にニッチア）と渦鞭毛藻類（主にプロロセントラム トリエスティナム）の混合赤潮となっています（下図）。

### ○プランクトンの状況

・海水 1mL あたり、ケイ藻類（主にニッチア）が最大 11,150 細胞、渦鞭毛藻類（プロロセントラム トリエスティナム）が 9,250 細胞確認されました。

\* 今回の赤潮プランクトン（ニッチア、プロロセントラム トリエスティナム）は基本的に無害ですが、多量に発生すると夜間に酸素濃度を低下させるため、活間内や畜養中の魚介類がへい死する恐れがあります。



### ○今後の対応

- ・ 活間等での魚介類の様子に十分に注意して下さい。
- ・ センターでは引き続き調査を実施しますので、今後の情報にご注意願います。

※ 漁業被害、海面の着色などが見られましたら、以下の連絡先までご連絡ください。

連絡先 福岡県水産海洋技術センター  
漁業環境課 小谷・江頭・池浦  
092-806-0884